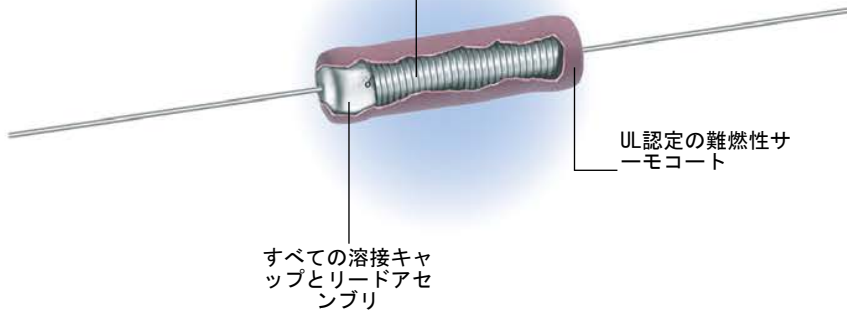




特定のパラメータの下で高熱伝導性セラミックコアに巻回された合金抵抗線



UL認定の難燃性サーモコート

すべての溶接キャップとリードアセンブリ

耐性抵抗器
シリコン/セメントコーティング

HFW

シリーズ

耐性抵抗器

・難燃性シリコンコーティング

・安全バージョン

・1W~5W

・10R~100R

As per AEC-Q200

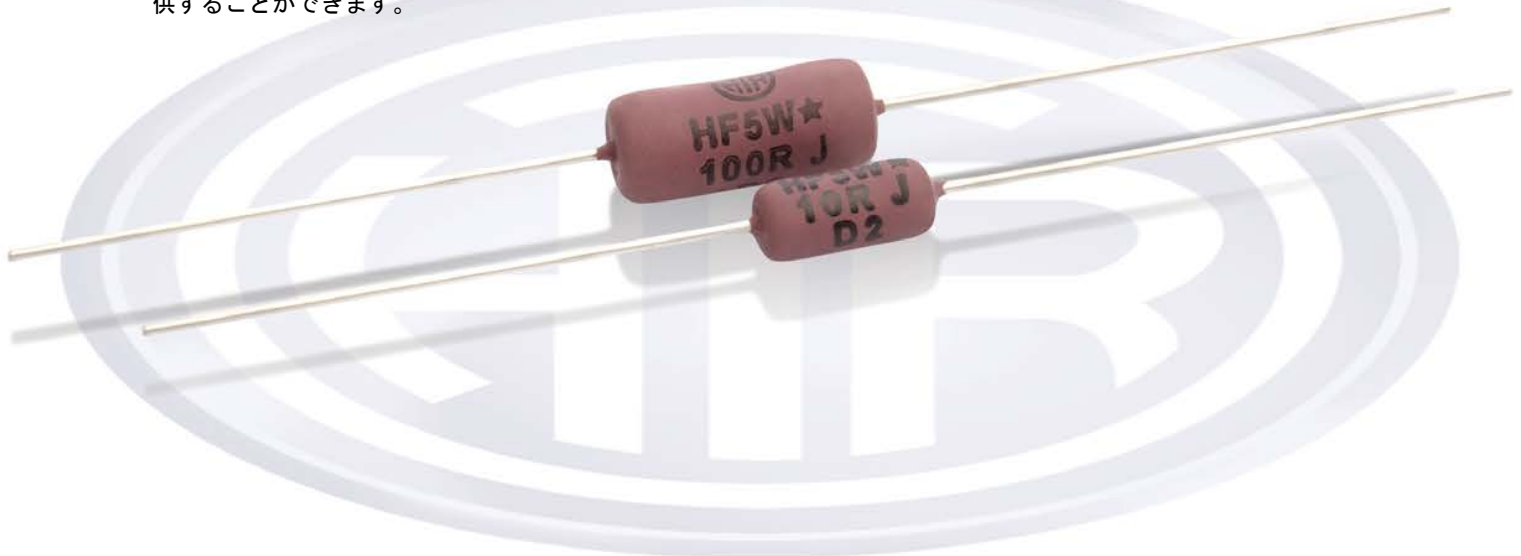


UL認定

UL 1412個のヒューズ抵抗器と温度-限定抵抗器による

ULファイル番号E 342534

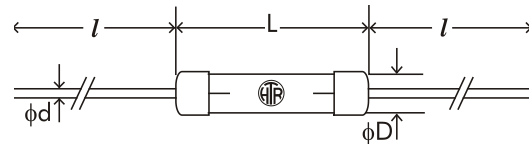
安全対策として溶断または爆発する抵抗器の世界的な需要を満たすためには、HTRは、電圧/電流の異常スパイクまたは回路の誤動作の場合に溶断または溶断する可融抵抗器を提供することができます。





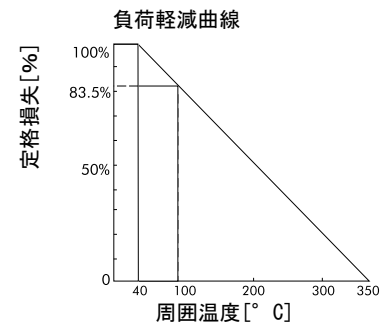
耐性抵抗器
シリコン/
セメントコーティング
HFW

物理的構成



HTR タイプ	40°C での定格 電力 (周囲)	寸法 (mm)				抵抗範囲		一個あたりの 標準重量 (グラム)
		* L (最大)	D (最大)	l ±1.5	d ±0.05	最小	最大	
F1W*	1W	6.75	4.50	38	0.8	10R	100R	0.60
HF1W*	1W	9.5	4.5	38	0.8	10R	100R	0.7
HF2W**	2W	9.2	3.6	38	0.8	10R	100R	0.55
F2W*	2W	11.5	4.5	38	0.8	10R	100R	0.75
DF2W*	2W (70°C)	14.5	6.0	38	0.8	10R	100R	1.2
HF3W**	3W	11.5	5.5	38	0.8	10R	100R	1.1
F3W*	3W	15.5	6.0	38	0.8	10R	100R	1.4
HF4W**	4W	16.0	6.0	38	0.8	10R	100R	1.4
HF5W**	5W	16.8	7.5	38	0.8	10R	100R	1.8
F5W*	5W	15.7	5.9	38	0.8	10R	100R	1.35

- * 各リードのコーティングオーバーフローは 'D' の半分を超えないようにする。
- ・ 最小値以下の抵抗値は、要求に応じて供給することができます。
- + UL 1412認定



電気的および環境的特性/データ

パラメータ/性能試験および試験方法	性能要件
定格電力 (定格周囲温度)	40°Cまでの最大電力損失と350°Cのゼロ損失まで直線的に低下します (上記の負荷軽減曲線を参照)
使用可能な抵抗許容差	±10% (K); ±5% (J); ±3% (H); ±2% (G); ±1% (F)
温度範囲	55°C~+350°Cで、負荷軽減曲線ごとに適切なデレーティングを行います。
定格電圧 / 制限電圧/ 最大動作電圧	$V = \sqrt{P \times R}$
耐圧電圧/電圧証明 制限電圧×2に基づく)	$\Delta R \pm (1\% + R05)$ - フラッシュオーバーなし、(60秒間の機械的損傷、アーク放電または絶縁破壊)
短時間の過負荷 (5秒間5×定格電力)	$\Delta R \pm (2\% + R05)$
抵抗の温度係数	<10Rで±60ppm /°C - 平均 選択されたワイヤに応じて ±10ppm以上で±90ppm /°Cまたは±30ppm /°C
絶縁抵抗	>1000MΩ (最小)
温度サイクル [室温-55°C→室温→155°C →室温5サイクル]	$\Delta R \pm [2\% + R05]$
ダンプヒート (定常状態) (40° C、93%R、Hで1000時間 - 負荷なし)	$\Delta R \pm [\leq 5\% + R05]$ - 平均
耐久性 - 耐用年数 制限電圧で70°C - 1.5時間オン / 0.5時間オフ1000時間)	$\Delta R \pm [\leq 5\% + R05]$ - 平均
耐溶剤性 (IPA60±10秒)	コーティング/マーキングへの影響なし



耐性抵抗器
シリコン/
セメントコーティング
HFW

機械的仕様

パラメータ/性能試験 試験方法の詳細	性能要件
端子引張強度	50ニュートン
はんだ耐熱性 260°C~270°C、10秒間	$\Delta R \pm [0.5\% + R05]$ - 標準
はんだ付け性 (IEC Pub. 60068-2-20 Taに よって)	規定された要件を満たさなければなりません。
マーキング	IEC Pub. 60062によって

注意：

一般的な考え方とは対照的に、可融抵抗器は標準的な抵抗タイプではなく、可融抵抗の各タイプは特定のアプリケーションに合わせて調整する必要があります。

典型的なアプリケーション

前述のように、可融抵抗器は、特別に作られた二重目的の部品です

- 通常の状態では、抵抗として機能します。
- 高過負荷/過負荷状態では、ヒューズ/安全装置として機能します。

注文情報

抵抗器のHFWシリーズは、抵抗値 $\geq 10R$ で使用可能な特別な「安全なバージョン」です
主電圧110v / 120vが印加されると、抵抗器は炎や爆発なしに瞬間的に溶断します。

抵抗値が $< 10R$ の場合、ヒューズタイミングと適合性は個々のアプリケーションごとにテストする必要があります。

注意事項：このテストを実施する前に、まずダミー部品を使用して電圧を正しく設定/調整する必要があります。設定後ダミー部品は廃棄します。

注文情報

シリーズ	タイプ	パッキング	抵抗値	許容差
HFW	HF2W*	バルク HF2W* テープとアモパック HF2W*T テープとリール HF2W*TR	15R	K

例えば

- テープとアモパックの場合：HF2W*T
- テープとリールの場合：HF2W*TR

注意：

バルクでご注文いただく前に、特定用途向けに抵抗器の適合性を確認することを強くお勧めします。